

## 京都府立植物園整備計画の見直しを求める会 ニュース

## なからぎの森

No.3

2021.6.4

発行元：京都府立植物園整備計画の見直しを求める会（通称：なからぎの森の会）

〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町 62-2

京都府立植物園整備計画の見直しを求めて、53,000 筆を  
越える署名を京都府に提出しました。

5月21日(金)、「京都府立植物園整備計画の見直しを  
求める会」として Chanage.org の電子署名 47,759  
筆(5月19日11時現在)と、植物園関係の専門家を中心  
に集められた全国署名 5,721 筆を京都府に提出しま  
した。

提出後、府の責任者は「バックヤードを縮小する思いは  
ない」と発言、新聞報道でもそのような記事が出ました。

我々はこの発言が、必ず守られるように監視する必要があります。また、「縮小  
はしないが移動はする」かもしれません。移動すれば園としての機能は大きく落  
ちます。



**京都府立植物園は依然として危ない！**  
問題は、バックヤード、だけではありません。

【バックヤードとは・・・】 植物が「表舞台」に出るまで、草花や樹々の苗を育成し、  
保護管理する、「植物園の心臓」に相当する施設のこと

「北山エリアの整備基本計画」がそのままならば、「出入り自由の一般公園」になる方向は今  
のところ変わっていないと考えます。商業施設の建設も、芝生地に大型ステージを作ることも  
見直しされてはいません。希少種などの保全などの「研究機関」としての比重を重くしていくか  
のような発言もあり、予断を許しません。京都府立の植物園としての役割が変わってしまっ  
て「植物園」という名称だけ生き残りかねません。 (裏面へ続く)

ネット署名はこ  
ちらから ↓



京都府は植物園とその周辺を「北山エリア」として「開発」として明言しています。植物園の問題以外にも、全学生数 2000 人規模の京都府立大学の真ん中に1万人収容のアリーナをつくり、その他の施設からも植物園に自由に入出りできるという構想などにも変わりはありません。住民説明会どころか地元の意見を聞く方針さえありません。周辺のほんの一部の住民に回覧板をまわしただけです。説明会開催を要請する電話を、京都府文化スポーツ部文化スポーツ施設課(075-414-4225)へかけましょう。

5月22日(土)午後2時～3時、鴨川東岸北大路橋東詰で署名運動拡散集会を開きました。今後、本格的に署名を集めてゆきましょう。



今後は、「植物園署名」とともに、「北山エリア整備基本計画の見直しを求める要請署名」も取り組んでいきます。植物園署名はネット署名にすでに賛同された方はできませんが、北山エリア署名はできます。ネット署名、紙ベースの植物園署名、北山エリア署名、賛同署名ともに、広めていただきますようお願いいたします。

次の署名の集約は、府議会の開催に合わせて、6月末とします。

**今後毎週土曜日 午後2時より1時間ほど、北大路橋東詰で署名を集めます。**

雨天順延・小雨決行。集まった署名があればお持ちください。ここにお持ちいただくか、署名の連絡先にお送りください。どちらか一つの連絡先にまとめて送っていただけたらいいです。署名用紙が必要な方も取りにおいでください。

○ **財政支援もお願いします。このニュースの発行元・吉澤喜代一まで現金書留でお送りください。**